

令和3年度 学校評価書

1. 学校の教育目標

教育目標

- ・心も体も健全な子
- ・素直でやさしく、思いやりの気持ちを持った子
- ・どんなことでも自分で考え、意欲的に取り組み、工夫して最後までやりとげる子

2. 指導のねらい

子ども達に様々な経験や体験ができる計画と実施

3. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

- ① ・生活の中で、お互いに育ちあい、遊ぶ力、人のかかわる事の楽しさを育てる
- ② ・保育の質の向上と保育者のスキルアップ「子どもの育ちを捉えるための記録とそれを生かした保育実践」・・・2年継続
- ③ ・地域の行事や施設等を訪問し地域の人々と関わる
 - ・保護者や地域の子育て支援拠点

4. 自己評価項目の達成及び取組状況

具体項目	評価点	理由及び改善策
教育保育計画	A	・各年齢の教育・保育計画や個別指導においては、子どもの育ちに着目し計画・実践ができていた。
		・園全体として、共通課題に向けての取り組み方法の改善(研修体制)をしながら、活動内容の充実を図っていききたい。
		・乳児保育の構築から、幼保連携体制の構築について深めていきたい。
研究計画	A	・記録を通して子どもの育ちを読み取ったり、保育者間で検討できる機会としては良かった。
		・今後は保育の中でどのような実践を展開していくかなど具体化し、それに基づいた検討をすることで保育の質の向上につなげたい。
地域連携計画	B	・コロナ禍で非日常だった事が日常の日々になっていく中、地域との連携や関わりが遠くなってしまっている。
		・地域の交流はなかなか持てなかったが、前年度の反省を踏まえて園外に出ることだけでも増えたことは、自然と触れ合う機会や生活の中でのルールに気付ける機会につながった。
		・今後も行事だけでなく地域とのつながりを、少しでも持てるよう考えていきたい。

◎「4. 5. 」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である